

OSAKA

かいなん

議会だより

令和元年9月定例会議

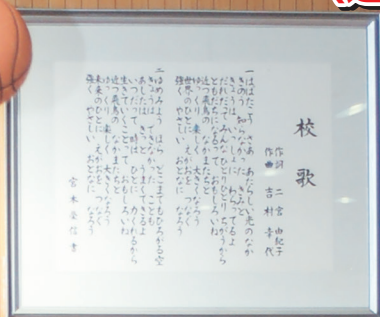
平成30年度決算審議 P2~5

議案審議・審議結果 P6~7

これが聞きたいのねん 議員の質問・・・P8~15

シリーズ 人 高橋 直也さん・・・P16

パラリンピックキャラバン
(近つ飛鳥小学校)



2019.12 No.145

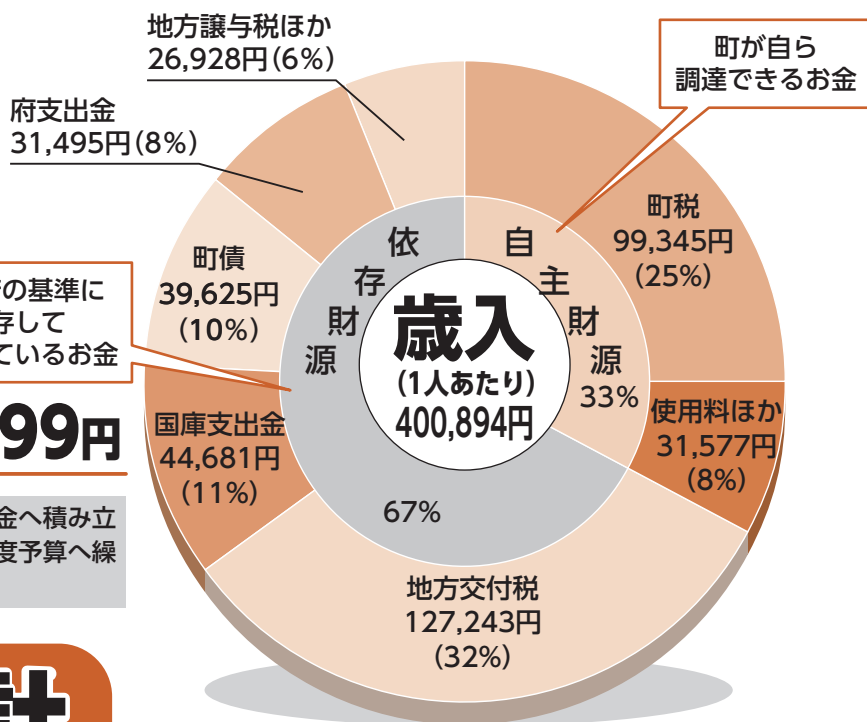
発行／河南町議会
編集／広報特別委員会

赤ちゃんからお年寄りまで

決算審議
決算特別委員会

年間 **39万1,295円**
1人9万9,345円

令和元年9月定例会議は、9月3日から9月24日までの期間で開催しました。
主な案件は決算認定で、そのほか条例の一部改正や補正予算、請願などの審議を行いました。
一般質問では、8人の議員が町政全般について活発な議論を行いました。



国や府の基準に
依存して
調達しているお金

9,599円

差引額は、基金へ積み立てたり、翌年度予算へ繰り越します。

会計

入ったお金 総額**62億4,433万円**

町長の所感

本年10月1日から実施

される消費税10%への引

き上げに伴い、町でもプ

レミアム付商品券の発行

とともに、幼児教育・保

育の無償化に向けた取り

組みを実施していく。

同じく10月からU22

(アンダー22)医療費助成

制度が始まる。それらを

スムーズに行えるよう努

めた。

平成30年度を振り返る

と、第2期の小学校統合

として、白木小学校、中

村小学校、河内小学校が

閉校となり、河内小学校

の校舎、校地を活用した

『かなん桜小学校』が本年

4月から開校となった。

また、かなん幼稚園と

河内幼稚園を統合した幼

稚園型認定こども園『か

なんこども園』が開園し

た。引き続き3歳児の受

け入れを行い、さらなる

幼児教育の充実に繋がっ

たと考えている。

さらに、現在、旧中村
小学校跡地に令和2年4
月開園の『中村こども園』
の工事を進めている。

●美しく魅力的なまちの
形成では、道の駅かなん
のリニューアルオープン、
トイレの改修を実施。

●『三世帯同居・近居支
援事業』では、住宅取得
で15件、改修で9件の助
成。

●道路・交通体系の整備
では、道路維持に係るコ
スト削減のため、平石ト
ネル照明灯のLED化
を実施。

●地域公共交通の利便性
の向上では、これまで実
証運行で行ってきたカナ
ちゃんバス及びやまなみ
タクシーを、本年2月か
ら本格運行として開始。

●交通安全の対策の充実
として、町道中村金剛山
線整備事業として、道路
拡幅や歩道設置のための
用地測量及び補償算定業
務委託などを実施。

平成30年度

決

算

みんなのお金どう使ったの？

1人あたり 納めたお金 町税

貯金

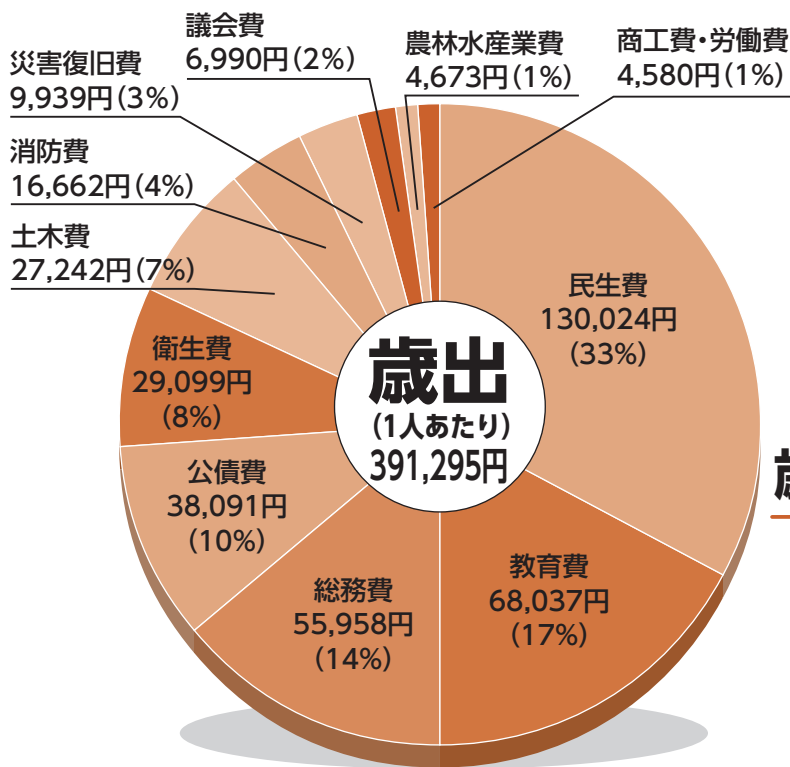
総額28億7,563万円
(1人あたり18万5千円)

借金

総額94億6,441万円
(1人あたり60万8千円)

平成31年3月末
人口 15,576人

※平成30年3月末
人口 15,732人



歳入歳出差引

使ったお金 総額60億9,481万円

一般

町長に問う

問 町税収入のうち法人町民税の減収は。町内にいくつかの企業が町外に転出し、町内雇用の方が失われつつあることに関して見解は。

答 工場の移転、社屋の移転の問題は河南町だけの問題ではない。町内で事業拡大拡張するにも調整区域の中では法の下、条件等がネックとなり移転せざるを得ない。町民税の減収になる。

大変心配なことであるので府と話し合い、検討する勉強会をスタートした。

問 白木小学校の跡地利活用の進捗は。

答 地域住民との話し合いで一応の結論、要望をいただいた。どう応えるかという次のステップに進めたい。

問 3年ほど前から道の駅かなんに食事を提供するレストラン的なことを

やるという動きがあったにも関わらず、なかなか応募する企業がないと聞いている。そのことに対しての認識は。

答 リニューアルしたのに売り上げが伸びない、客数も減っている。サウディング等いろいろな手法をもって、誘致なり、参入してくれるところを募ったが、ないというのが実態。

打開するように一生懸命頑張っているのですが、もう少ししばらく待ってもらいたい。

問 ペーパーレス化など、情報化の推進施策方針は。

答 電子決裁、キャッシュレスなど新たな取り組みはやりたい。

問 地域公共交通であるデマンドの検討は。

答 まだ手つかずの状態。地域公共交通では、なかなかバスなどの利用者は増えているので、期待感はある。



決算審議

決算特別委員会

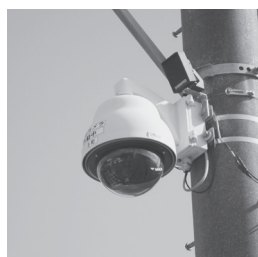
平成30年度の一般会計及び特別会計・水道事業会計は、決算特別委員会で3日間審議しました。ここでは、審議した主な内容をお知らせします。

問

デマンド交通ができ

交通のあり方などは

総務部



町内各所に設置されている防犯カメラ

れている。

43台設置、ほぼ網羅さ

れている。

況は。

防犯カメラの設置状

視点から

安全なまちづくりの

一般会計

総合政策部

ごみシール制廃止の検討

経費削減するうえで

の余り減っていない。

人口減少はあるもの

は。

ごみの排出量の変化

生活・環境の面から

住民部

引き上げは考えていない。

行財政改革で決めら

れた9万円の報酬なので、

検討を。

区長の報酬の増額の

とはない。

全然、研究しないこ

なるのかの検討を。

デマンドをやったらどう

マイクロボスによる

結果であった。

全域では難しいとの

結果は。

るかどうかの調査研究の



ごみシール制廃止の検討を

減量化、分別に取り組ん

できた。シール制を廃止

を。

を。

歳入質疑

税収について

町税の半分を占める住民税が増えている。納税者の変化は。

前年に比べ66人増えている。

給与所得者の所得額が増えているのか。

給与所得額の増もあるが、30年度は退職所得額の増が顕著であった。

山城バイパス道路沿いのプレハブやテント式の建物への課税はしているのか。

定期的に、家屋調査も兼ねて巡回し、調査している。

健康と医療の面から

健康福祉部

不妊医療費助成金が

拡充されたが、利用者の

声は。

経済的な負担の軽減

になり、ありがたいとの

声を聞いている。

すれば、またごみの量が
増える懸念がある。

問 休日診療所、小児救急診療、二次救急の担当病院は。

答 休日診療所は富田林医師会の休日診療所、小児救急と二次救急は富田林病院、P.L病院と近大病院となっている。

問 患者数の把握と病状の把握はできているのか。

答 病院名や年齢、症状など把握できている。

まち創造部

環境・生活基盤の改善面から

問 町で耕作放棄地の紹介業務を。

答 大阪府みどり公社にお願いしている。

問 山城バイパス道路促進の期成会の立ち上げを。

答 現在、休止状態になっているが、再開に向けて努力している。

教・育部

教育環境の充実

問 英語力の向上に向けた目標とするところは。

答 中学校にて英語検定を実施しており、3級の合格率が60・9%となつて国の目標50%を上回っている。

問 給食の残菜量は。また、その処理は。



給食の残菜処理方法は

答 小・中学校で1万4,631kg（1食あたり約60g）。処理は生ごみ処理機で分解処理し下水道へ流している。

問 環境面を考慮して、堆肥化すべきでは。

答 リサイクル及び資源の有効な課題から研究したい。

特別会計

国民健康保険

問 大阪府下で国民健康保険が統一された。町の努力によって給付費が抑えられた分は、町に影響あるのか。

答 405万円が努力支援分として町に入ってきている。

問 集団検診への参加が増えれば、町の持ち出しが減る。対策は。

答 若年層の受診が少ないので、子ども向けイベントに来る保護者へ啓発する。

問 近隣市町村では乳がん、子宮がんなどの検診は利用者負担なしで行われている。河南町も無償にしては。

答 自分の健康は自分で守るという意識を醸成するために、一部負担してもらっている。

介護保険

問 100歳体操やいきいきサロンなどに急に来なくなった人へのフォローはできているのか。

答 来なくなった要因が特定できていない。より地域に密着して展開することと解決したい。

問 緊急通報体制整備見守り事業とは。

答 ボタンを押せば、大阪ガスへ通報が行き救急の手配など対応を行う事業である。78人が利用している。

後期高齢者医療

問 保険料軽減策は。

答 保険料の基準額そのものが府下でも低い水準なので、軽減策は考えていない。

問 広域連合で運営しているのに、詳細な情報住民に入っていない。

答 これまでは健康増進のために教室を開催することや相談などが、住民に向けて直接できなかった。来年度からはそれらを町で行う。

下水道事業

問 突発事故の発生件数は。

答 管詰まりによる清掃が15件、マンホールの傷みが2件、マンホールポンプの修繕が1件である。

問 大宝地区の雨水管は、時間雨量30mmでもあふれることがある。ゲリラ豪雨は増えているが、雨水対策の進捗は。

答 雨が降れば現場検証

水道事業

問 損失水量が前年比7.4%増えている要因は。

答 大宝高区配水池の工事に伴い、池の中を洗浄した際に使用した。

問 配水池の緊急遮断弁の点検頻度は。

答 おおよそ5年周期でメンテナンスしている。

問 各家庭に設置されている水道メーターの耐用年数は。

答 8年である。耐用年数が切れたものから順次更新している。



豪雨によりあふれた水路

などを行っている。

かなん桜小 教育環境改善の請願

採 択

請 願 者：かなん親の会オリーブ 代表 佐竹 志津

請願事項：かなん桜小学校の現3年生のクラス数を令和2年度から卒業年度まで2クラスから3クラスにすること

本請願は、小学校問題及び公共施設再編整備計画調査特別委員会へ付託され、審議の結果、「趣旨採択（※1）」となりました。しかし、本会議では「趣旨採択」を否決し、「採択」とすることに決しました。

小学校問題及び公共施設再編整備計画調査特別委員会

論 点

学級編成について

Q 国の学級編成基準は1クラス40人。一般学級と支援学級の児童の合計で40人を超えているが。

A 学級編成は、一般学級在籍児童数で計算するので40人超に該当しない。

スペースの問題

Q 教室に圧迫感があり、また収納スペースも狭いが。

A 42〜45人が入るスペースはある（縦8.5m 横8m）。教材・持ち物が増えたことなどで、収納スペースが狭くなっていることは把握している。改善に向けて対応している。

○ 35人学級に向けた町の対応

来年度から全学年35人学級を町単独で実現することは難しい。町村長会を通じて、大阪府に要望している。

※教職員に係る費用 本来、国が3分の1、府が3分の2を負担。町独自の施策として加配する場合、全額町負担（年間約1,000万円／人）。

現3年生の在籍児童数（単位：人）

	1組	2組	計
一般学級	36	38	74
支援学級	4	3	7
計	40	41	81

○ 本会議での審査結果 ●

各議員の表決 ○＝賛成 ●＝反対 一＝議長		審議結果	加藤久宏	中川博	野村守	田中慶一	浅岡正広	佐々木希絵	力武清	福田太郎	大門晶子	小山彬夫	浅岡幸晴	廣谷武	
内	容														
本請願書を委員長報告どおり「趣旨採択」とすることについての審議			否決	○	●	－	●	●	○	●	○	○	●	●	○
本請願書を原案どおり「採択」または「不採択」とすることの審議			採択	●	○	－	○	○	●	○	●	●	○	○	●

委員長報告 請願者の願いは理解でき
るが、（※1）財政事情などにより当分の間、実現は見込めない。そういった場合、便宜的に趣旨のみを取り上げる方法（趣旨採択）があることが委員から示され、賛成多数で「趣旨採択」することに決した。

討 論

原 案 に 賛 成

町単独でも努力すべき

統合により先生の人数は20人減の年約2億円削減されている。先生の確保に約1,000万円かかるが、削減効果のわずか5%である。町は単独で少人数学級に取り組み、府に人的保障を求めるべき。

力武 清 議員

趣旨採択に賛成

願意を即実現するのは困難

一般学級と支援学級の児童が、互いの存在を認め合い、双方ともに尊重し合える心を育てることは大切であるが、3クラスにすることとは別問題。委員会での審議過程において、即実現させることを確約できない。

大門晶子 議員



かなん桜小3年生教室での授業風景

住みやすいまちへ

条例審議



河南町の力ナちゃん

少人数学級の推進を求める意見書

35人学級実現に向け、国会及び政府並びに大阪府に要望する。
(全員賛成で可決)

多胎妊婦健康診査費助成の拡充を求める決議

多胎妊婦については妊婦健康診査14回の助成に加え、追加で5回分を助成するよう町に求める。
(賛成多数で可決)

討論

反対 大門晶子議員

必要性、有効性、緊急性、公平性において時期尚早。もう少し慎重に動向を見て判断してもよい。

賛成 力武 清議員

受診回数を増やすことで、妊婦に安心感を与える。結果、健康な状態の維持に寄与すると考える。

新たに河南町まちづくり会議を設置するもの。今後のまちづくり計画・人口ビジョン・総合戦略の策定についての助言や審議を担う。

(全員賛成で可決)

内容

まちづくり会議を設置

河南町総合計画審議会と河南町総合戦略推進会議を廃し、河南町附属機関設置条例の一部を改正する条例

内容

非常勤職員に期末手当及び通勤手当を支給する。
(全員賛成で可決)

同一労働同一賃金へ前進

河南町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例

○ 賛否の分かれた議案 ●

◎：今回、内容を掲載している議案

各議員の表決 ○=賛成 ●=反対 △=除斥 ―=議長		審議 結果	加 藤 久 宏	中 川 博	野 村 守	田 中 慶 一	浅 岡 正 広	佐 々 木 希 絵	力 武 清	福 田 太 郎	大 門 晶 子	小 山 彬 夫	浅 岡 幸 晴	廣 谷 武
件	名													
河南町総合保健福祉センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について		可 決	○	○	－	○	○	○	●	○	○	○	○	○
◎平成３０年度河南町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について		認 定	○	○	－	○	○	○	●	○	○	○	○	○
◎平成３０年度河南町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について		認 定	○	○	－	○	○	○	●	○	○	○	○	○
◎平成３０年度河南町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について		認 定	○	○	－	○	○	○	●	○	○	○	○	○
◎多胎妊婦健康診査費助成の拡充を求める決議		可 決	○	○	－	○	○	○	○	○	●	○	○	○
議会選出監査委員の選任について		否 決	△	○	●	○	○	●	●	●	●	－	○	●

○ 全会一致の可決議案・認定議案 ○

◎：今回、内容を掲載している議案

件名	件名
◎河南町附属機関設置条例の一部を改正する条例の制定について	◎平成30年度河南町一般会計歳入歳出決算認定について
河南町報酬及び費用弁償条例の一部を改正する条例の制定について	◎平成30年度河南町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
河南町印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	◎平成30年度河南町土地取得特別会計歳入歳出決算認定について
◎河南町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について	◎平成30年度河南町水道事業会計決算認定について
地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例の制定について	令和元年度河南町一般会計補正予算（第2号）
河南町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	令和元年度河南町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
河南町教育・保育に関する利用者負担額を定める条例の一部を改正する条例の制定について	令和元年度河南町介護保険特別会計補正予算（第2号）
河南町水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について	◎少人数学級の推進を求める意見書
河南町消防団条例の一部を改正する条例の制定について	



浅岡 幸晴議員

自由民主党
浅岡 幸晴
田中 慶一
浅岡 正広
小山 杉夫

問

暴言を発したことは

答 私からは、よう答えられない

議員・議会への対応は

問 議員に対して「文句があつたらかかってこい」と暴言を発したことはあるのか。

答 私からは、よう答えられない。

問 町長の議会に対する接し方や考え方は。

答 議会と町長、そして行政部局等は、平等な関係。住民サービスの執行については権限を与えられているので、私も住民のために頑張る。そのように思っている。



町長の議会に対する考え方は

問 スクールバスの三角形の表示がされていないので、早急に対応するよう指摘があつたが、町長の他人ごとのような「警察へ行つてこい」との無責任な発言については。

答 私が警察に電話して聞いた。

住民、議会、町長の関わりは

問 住民の皆様への対応はどのように行えばよいのか。

答 皆様からの要望、質問に真摯に対応している。

問 議会からの「野良猫、地域猫問題に関する申入書」への対応は。

答 議員の皆様のご意見があるので、重く受け止め

ている。

問 タウンミーティングを開催されないのか。

答 4年ごとにミニフェストを出し、私を信任していただき、町長をさせていだいてほしい。ミニフェストで訴えているし、いつでもできるといふものではない。

河南町の陰、裁判件数は

問 裁判を起こしている問題は何件・費用は。

答 提訴されている裁判は1件目、是正工事措置命令取り消し訴訟事件（268万3千円支出）。

2件目、退職手当請求事件（着手金100万8千円支出）。訴訟以外に、



土砂の山となったままの埋め立て地
早期解決を（中地区）

埋立て事業は誰が許可したのか

問 埋立て事業の行為、誰が行政指導してきたのか。

答 指導要綱に基づいている審査である。

問 最終的に事業の行政指導をしたのは町長である。他人ごとと違う！ま

町長の退職金の裁判は

問 基礎自治体の傾向として、廃止や減額等が大半を占めているなか、何を考へて裁判を起こしたのか。

答 訴えているのは町長ではない。答弁は控えさせてもらう。



中川 博議員

問 一般質問を重要視すべきでは 答 行政の指針になり重要である

問 一般質問の範囲、目的、効果について。

答 範囲は、制限はなく自治体の行財政全般に及び、目的は、執行機関の所信を正し、行財政運営をチェックし、政治姿勢や政治責任が明確化される。結果として現行の政策の変更は正、新たな政策の採用等の効果がある。

問 何が必要不可欠な政策かを意思決定するのは、最終的には私たち議会である。その認識に立てば、一般質問はもっと重要視

答 行政側の答弁は、自治体の公式見解でその後の行政の指針になり、非常に重要なものである。

問 議会は、意思決定機関と、住民の立場に立つて政策を監視するために調査権、検査権を行使する。町長は、会議の最後に「議員の提言を十分踏まえて町政運営を行う」と挨拶されるが、一般質問等をどう尊重するのか。

答 財源という重たいものに我々140数人が群



議員の必読書「議員必携」(参考)

がっているわけで、そのことが非常に重要だと考える。

多胎児支援について

問 多胎育児家庭の虐待死は、単体育児家庭の2.5倍から4倍と指摘されている。サポート体制はどうなっているのか。

答 大阪府において、多胎児の出産後も保健医療の連携体制の整備、医療機関と連携サポートを行っており、本町としても育児相談や子育てセンター事業に結びつけ、虐待防止を図り、状況把握に努めている。

問 多胎児家庭に対する今後の対応は。

答 多胎家庭の悩みや、ニーズを的確に把握、対応し些細な変化にも気づく育児支援を行っていく。

アーティスト・イン・レジデンスについて

問 どういうものか。補

助金は。また、本町において導入活用は可能か。

答 国内外からアーティストを一定期間招致し、滞在中の創作活動を支援する事業。補助金はA I R活動の取組みの拠点的事業支援で上限700万円、小規模事業支援で上限300万円の補助金がある。活用・導入については、今後研究していく。



多胎育児家庭への支援は(日本多胎支援協会 写真 提供)

マイキープラットフォームについて

問 どういうものか。本町の対応は。

答 マイナンバーカードのICチップの空き容量を活用し、各種サービスを利用する。また消費活性化対策を行う共通情報基盤である。国の補助金もあり、マイキープラットフォーム運営協議会への加入申請を現在行っているところである。

これが聞きたいねん

一般質問(個人)



佐々木希絵議員

問 災害時ライフラインの確保は

答 確保できるように体制を整えていく

問 昨年の台風で停電になつたとき、ふれあいの湯を開放した。その際、

「支配人がたまたまいたから対応できた」と聞いたが、災害時にはいつでも開けられるよう話をし

ておくべきでは。

答 必要な時は利用できるように協定を締結した。

問 停電時には、貯水タンクに水を上げることができず断水の可能性がある。対策は。

答 各水道施設で必要な発電機の種類などを調査している。

問 希望する世帯にソーラーパネル補助金を出しているが、蓄電池へも助成できないか。

答 検討する。

問 マンホールトイレなど備蓄状況は。

答 利用できるマンホールがないので、現在建築中の中村こども園に整備している。

問 仮設住宅として空き家を活用する体制を整備できないか。

答 現在、町の空き家バンク登録数は8件だが、仮設住宅としての使用は今後検討する。

防災会議に女性メンバーが必要では

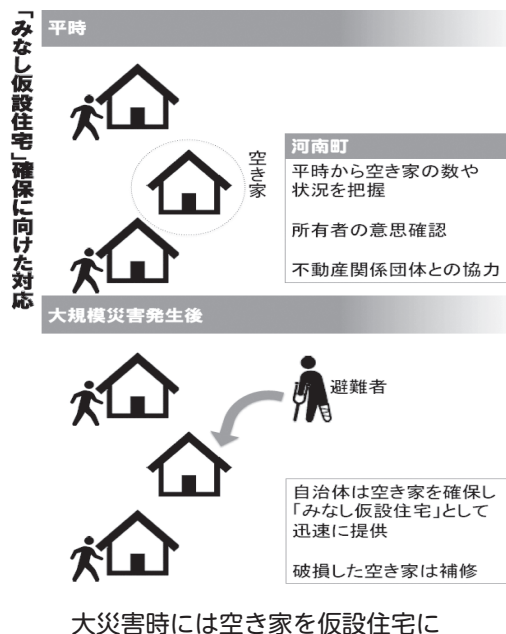
問 防災会議の目的は。

答 3月の会議では河南町地域防災計画の変更に関する審議と土砂災害タムラインの報告を行った。

問 防災会議のメンバーは。男女比は。

答 町職員、府職員、警察、消防、医師、電話、電気、ガスなど20人の関係者で構成している。全員男性である。

問 大規模災害時に避難所で生活することになれば、必ず問題になるのが痴漢やレイプなどの性暴力である。阪神・淡路大震災で問題が表面化して



個人情報提供を第三者へ提供する可能性は

問 個人情報保護を保障するということは、憲法で保障された基本的人権としてのプライバシー権を保護することと同じ意味である。鹿児島市立図書館で、警察の求めに応じて利用者情報を提供していた。町で起こりうるのか。

答 個人情報保護条例に基づいて運用するので、安易に提供することはない。

全国規模で支援し合う体制を
(東日本大震災時の陸前高田市への給水支援の様子)





力武 清議員

問 テニスコートに温水シャワーを 答 必要な設備が何か検討する



改善待ち遠しい町立テニスコート

問 テニスコートは、公
式戦ができるコートに
なっているのか。

答 設備自体は十分大会
に耐え得るものとなっ
ている。

問 テニスコートのトイ
シを洋式に改修を。

答 体育施設に必要な設
備が何かを含め、検討し
ていく。

問 グラウンドゴルフの
「かなんカップ」の目的は。

答 ゴルフ場の利用者の
増を目的とし、ゴルフを
通じて心と体の健康づく
り、参加者の親睦を図る。

問 利用者の拡大策は。

答 各種団体、子どもや
家族、生涯スポーツ教室
への取り組み、用具の貸
し出しなどを行い体験機
会の拡充を検討。

問 グラウンドゴルフ場
の物置が台風で飛んだま
まになっている。対応を。

答 一つの活用方法であ
ると思っている。

答 管理しないといけな
い物品等を精査し、必要
性を検討する。

問 元ゲートボール場に
ぺんぺん草が生えたまま
管理されていない状態が
続いているが。

答 敷地の整備も必要な
状況であり、今の状況で
良いとは思っていない。
早急に何とかしたい。

問 グラウンドゴルフ場
のサブグラウンドとして
利活用をしてはどうか。

答 一つ一つの活用方法であ
ると思っている。

問 一つの活用方法であ
ると思っている。

契約と入札制度につ いて

問 入札妨害事件から15
～16年になる。現行の制
度の導入の背景は。

答 再発防止のため契約
検査室を設け、入札・契
約手続きなどを監視する
入札監視委員会を設置。

問 入札妨害の最大の元
凶は何か。

答 予定価格、最低制限
価格等の情報を非公表に

していること。これによ
り入札情報を職員へ不当
な要求があり、設計全額
を漏らした。また非公表
にした事で、不当な圧力
や正当な入札ができなく
なる。

問 事前公表のメリット
とデメリットは。

答 メリットは、入札情
報の漏えい等がなくなり、
不当要求行為を防止し、
公平な執行が確保できる。
デメリットは、事前公表
された情報を参考に受注
する事態が生じている。



雑草に覆われた元ゲートボール場

ふれあいの湯の、利 用促進について

問 ふれあいの湯の位置
づけ、役割は。

答 住民相互のふれあい、
世代間交流、憩いの場と
して位置づけている。災
害時の活用も想定してい
る。

問 利用料金を元の10
0円に戻すべきでは。

答 浴室改修に費用がか
かっており、利用料を半
額にした場合、2倍の利
用者の確保が必要となる。

価格等の情報を非公表に
していること。これによ
り入札情報を職員へ不当
な要求があり、設計全額
を漏らした。また非公表
にした事で、不当な圧力
や正当な入札ができなく
なる。



福田 太郎議員

問 低所得者の介護保険料軽減策は

答 次期策定委員会で決定する

問 令和2年度の河南町介護保険特別会計予算編成の際に、日常生活に困窮している一人・二人暮らしの低所得者の介護保険料のさらなる軽減策として現在の保険料の段階設定を上限12段階から16

段階が17段階に増やせないか。

答 第8期介護保険事業計画の策定年となり保険料の段階設定は次期策定委員会で決定する。

問 今後の在宅介護給付サービス支援事業の援助

■平成31年度（令和元年度）介護保険料

保険料段階	対象者	保険料率	保険料（年額）	月額（のめやす）
第1段階	●生活保護の受給者または、老齢福祉年金の受給者で世帯全員が町民税非課税の人 ●世帯全員が町民税非課税で、合計所得金額と公的年金収入額の合計額が80万円以下の人	基準額 ×0.50 →0.375	34,770円 →26,070円	2,898円 →2,173円
第2段階	●世帯全員が町民税非課税で、合計所得金額と公的年金収入額の合計額が80万円を超え120万円以下の人	基準額 ×0.70 →0.60	48,670円 →41,720円	4,056円 →3,477円
第3段階	●世帯全員が町民税非課税で、保険料段階が第1段階、第2段階以外の人	基準額 ×0.75 →0.725	52,150円 →50,410円	4,346円 →4,201円
第4段階	●本人が町民税非課税（世帯内に町民税課税者がいる）で、合計所得金額と公的年金収入額の合計額が80万円以下の人	基準額 ×0.90	62,580円	5,215円
第5段階	●本人が町民税非課税（世帯内に町民税課税者がいる）で、保険料段階が第4段階以外の人	基準額 ×1.00	69,540円	5,795円
第6段階	●本人が町民税課税で、本人の合計所得金額が120万円未満の人	基準額 ×1.20	83,440円	6,953円
第7段階	●本人が町民税課税で、本人の合計所得金額が120万円以上～200万円未満の人	基準額 ×1.30	90,400円	7,533円
第8段階	●本人が町民税課税で、本人の合計所得金額が200万円以上～300万円未満の人	基準額 ×1.50	104,310円	8,693円
第9段階	●本人が町民税課税で、本人の合計所得金額が300万円以上～400万円未満の人	基準額 ×1.70	118,210円	9,851円
第10段階	●本人が町民税課税で、本人の合計所得金額が400万円以上～600万円未満の人	基準額 ×1.75	121,690円	10,141円
第11段階	●本人が町民税課税で、本人の合計所得金額が600万円以上～800万円未満の人	基準額 ×1.85	128,640円	10,720円
第12段階	●本人が町民税課税で、本人の合計所得金額が800万円以上の人	基準額 ×1.95	135,600円	11,300円

※第1～3段階の保険料については、軽減措置あり。

介護保険料の段階設定を増やせないか

さらなる高齢者保健福祉事業は

問 国では高齢者の認知症予防の指針のもと、認知症サポート事業を強化している。今後、町としてのさらなる認知症予防

答 さらによいケアマネジメントが提供されるよう、地域ケア担当者会議等を通じ介護専門員の知識向上を図る。

対策は。

答 町では、いきいき体操を普及することで認知症予防と高齢者の体力向上を目指すほか、認知症キャラバンメイト、認知症サポーターの養成も行っている。

問 高齢者への虐待対策について、町内の各介護施設内の施設養護者による入所高齢者の身体への虐待行為等を阻止するための対策と家族同居等での擁護者からの虐待行為や心理的、性的、経済的等の虐待に対する取り組みは。

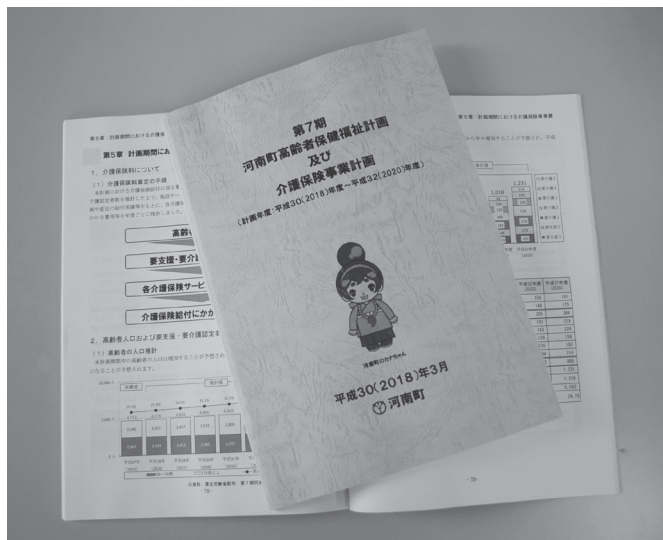
答 入所者を含め、施設等従事者と直接接する機会を設けてご意見、ご相談等を伺う。また、家族

問 町住民個々の診療

答 社会福祉協議会や民生委員児童委員協議会との連携を密にするともに、自治会の活動も8050の問題解決の一つと考える。

問 我が町の8050問題について、現在の実態の把握と状況、今後の8050問題への対策は。

答 ICカードを活用した健康管理は、健康診断の結果、予防接種情報、医療機関での医療情報等をデータ化し、他機関からの必要な情報を利用し管理していく仕組み。今後、国の動向を注視しつつ、自治体クラウドを構築している豊能町、千早赤阪村とともに研究する。



来年度は、次期介護保険事業計画の策定年度



大門 晶子議員

問 カナちゃんバス利用に工夫を 答 会議で課題評価をする予定だ

問 地域公共交通の役割を機能的に生かすには、どのようなすればいいかと言う観点から伺う。カナちゃんバスの利用は、行き先や目的が分かって

答 今年度設置する地

域公共交通評価会議において、課題について評価していただく予定。運行業務の委託先との協議になるが、バス内のアナウンスの必要性なども検討する。

バスマップの作成を

問 地域資源で日常生活をまかなうにはどうすべきか考えているが、地域の情報を持っている人々が集まって、協力してバ

スマップを作成すれば、本町にある生活情報を町民全体で共有でき、多くの人が活用できる。住民と協働のバスマップ作りを提案したいが、そのような考えはないのか。

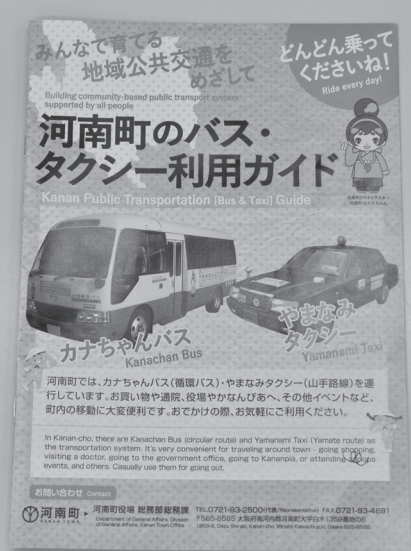
答 今回のマップ作成時期には、利用者の声も聞きながら、利用促進にも繋げられるよう検討を進める。

問 持続可能とするには、財政措置のありようも重要視しなければならない。安定した運営のために広告料や協賛金など運賃以外の可能性も探り、工夫

答 運行当初と比べると利用者は増加傾向だが、運賃収入の収支率は低い状況である。改善策として、乗車券の販売やサポーター制度を導入した。バス内の広告料として道の駅かなんなどに協力を

いただいているが、他の事業者も募集していききたい。今後も新たな収入に

住民と協働のバスマップ作りを



新生児聴覚検査とは何か

問 どのような検査が行われているのか。

答 赤ちゃんが受けることができる簡易検査で、生後1ヶ月までの乳児を



広告料など運賃以外の収入確保が必要では

問 受診勧奨するための周知方法は。

答 母子健康手帳交付時に個別に説明している。事業の周知は広報などで行う。

問 聴覚障がいが発見できた場合の支援体制は。

答 耳鼻咽喉科と連携を図り、聴力や言語発達の経過観察を行いながら、必要な支援に繋げる。

これが聞きたりねん

一般質問（個人）



廣谷 武議員

問 豪雨災害対策は

答 危ないことに遭遇すれば逃げる

河川の整備 進捗状況と課題

問 町内の河川の整備状況は。

答 準用河川が2河川、普通河川が7河川、全部



豪雨時にあふれる水路の対策は

で約15kmあり、その中で約10kmは、町の整備で

やっている。それ以外は災害にあった時に、災害復旧として整備したもの。

問 対策はどのように考えているのか。

答 豪雨災害対策として、雨が降った時にあふれた箇所については、職員が行ってその原因を究明できるように努めている。

9月4日の大雨の際は、同時に動画を撮影することができ、ある程度原因がわかったので、今後対応を考えている。

用水路の整備・清掃

問 用水路の整備・清掃は、高齢化に伴い困難では。

答 用水路については、基本的に受益者をお願いしている。揚げられた土砂の処分は、府道沿いについては府が、町道沿い等については町が行って

いる。

問 人力でできないところは。

答 府道の横断部分は府の方で清掃を行っている。手の届かないところは、バキュームなどを出動している。

水路の整備・清掃は

問 住宅地において水路があふれているが、対策は。

答 小さな水路については、枡を改修したり、一部の水路の水の流れの方向を変えれば解消できるものもある。先ほどの動画撮影したところは、原因を究明して解消に努める。

豪雨災害対策は

小さいところは、少額で解消できる部分もあるもので、積極的に解消に努めていきたい。

問 青朋をはじめ、持尾、平石、上・下河内など豪雨の際、土砂災害が一番懸念される場所が町には多い。どのような対策を講じるのか。

答 職員の数が限られているし、町内全域を巡回することも不可能である。危ないところは、地元で知らしめる住民さんが一番知っている。危ないところで危ないことに遭遇すれば逃げる。これが今の常識。命を守る。命があれば後はなんとかできる。逃げることを大前提に、今取り組んでいる。



H29.10月の台風21号による被害(国道309号・青崩付近)



加藤 久宏議員

問 地域農業の将来について

答 10年持続可能なプランを策定する



10年先を見据えた三重県玉城町の取り組み
(大規模農業予定地)

問 農林水産省が推奨する「人・農地プラン」とは。

答 農業者の高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加など地域が抱える問題について、農業者が話し合いに基づき、将来のあり方を明確化する取り組み。

問 7年前の人・農地プランと関連する町の取り組みは。

答 道の駅かなんの活性化・新規就農者支援。

問 平成24年当時、地域農業についてどのような検討がなされたのか。

答 課題の解消には、国

や府の補助金を受けることが方策と考え、人・農地プランの策定を行った。

問 7年前の人・農地プランにひもづいている事業についての評価報告は。

答 町内の新規就農者3名については、収納計画に基づき、その進捗状況を国や府に報告している。

問 企業参入についての効果をどう評価しているか。

答 持続可能な農業への有効な取り組みであると考えている。

問 今年改定された人・農地プランと以前のプランとの差異は。

答 以前のプランの中には地域の話し合いに基づくものとは言い難いものもあることから、新たなプランでは、対象地区の現状把握や農地の集約化の方針を定めることとなった。

問 将来の農業のあり方について町長の考えは。

答 日本が抱えている問題と河南町が抱えている問題は一致している。気候や風土にあった町独自のやり方があるはずで、企業参入を含めた門戸は広く構えて、チャンスをものにしたい。

棚田保全について

問 棚田保全事業の具体的な取り組みは。

答 耕作放棄地の解消を目的に平成25年度から青崩地区1.4ヘクタール、平成26年度から持尾地区2



大学生による棚田キャンパス（青崩） さらなる活用を！

ヘクタールで実施。その他、棚田キャンパス活動と題して、大学との協業も実施。

問 環境保全も加えた事業を検討すべきでは。

答 棚田保全は美しい景観の形成にも寄与しており、府と共に研究していく。

問 環境保全に経済性を伴わせる。これは地方創

生の考えでもある。都市と農山村の経済性を伴った交流について、特命理事の見解を問う。

答 棚田事業で都市との交流が実現すれば、都市部の住民が河南町に関心を持つという観点から意義がある。町が、都市部の自治体とウインウインの交流ができないか研究する。

シリーズ



(41)

—その道の達人から学ぶ—

里山の魅力を活かした まちの庭づくりが夢！

高橋 直也さん（寛弘寺）



今回は庭師の高橋直也さんを紹介します。根っからの自然好きの高橋さんは、子どもの頃に遊んだ河南町の里山風景が失われていくことを危惧し、その魅力が伝わるような庭づくりに取り組んでいます。

以前はプロミュージシャンとして全国各地を飛び回っていた高橋さん。しかし結婚し、子どもが生まれた頃には、自宅周辺の自然環境が大きく変化してきており、外遊びの魅力が減っていることを実感。自分の手で魅力ある庭をつくりたいと思い、家業を継いで、庭師になる決心をされました。

本来、庭は暮らしと密接に関わっており、防災、防犯、癒しなど様々な価値を提供してくれます。そのような価値を伝えることができるよう、技術、知識、センスを磨いて、施主に喜んでもらえるような庭づくりに励んでいます。そのために、全国の庭師が集まる研修に積極的に参加し、交流



を深めています。また、庭師仲間とともに吉野山の傷んだ桜を再生させる活動にも取り組んでいます。

河南町は都市近郊の里山として、都会に住む人たちにアピールできる魅力にあふれているという高橋さん。その魅力を失うことがないよう、またその価値を高めていけるよう、今後は庭づくりの実験場として活用している自宅を開放するなどして、特に若年世代へ発信していきたいそうです。

議会選出監査委員決まる

令和元年11月臨時会議(11/8)において、議会選出監査委員の選任について次のとおり賛成多数で同意しました。

○議会選出監査委員 **力武 清**

第63回町村議会議長全国大会

日程 令和元年 11 月 13 日
場所 NHKホール（東京）
参加者 小山議長、中川副議長



総合防災訓練

(11月10日)

町総合防災訓練が総合運動場で行われました。当日は、地域住民、消防団、各種団体等多数の皆さんとともに議員も参加しました。

今年は、「災害をしのぐ工夫と備蓄」をテーマに災害備蓄品の披露や各種訓練が行われました。

会派研修

(10月1・2日)

自由民主党は、沖縄県宮古島市へ行政視察に伺いました。宮古島地下ダム資料館やエコパーク宮古を視察し、地下水灌がい整備事業や地域エネルギー政策などについて学びました。



定例会議の日程

令和元年12月定例会議を、次の日程（予定）で開催します。

12月3日 開 会
12月17・18日 一般質問
12月19日 閉 会

町政を身近に知るよい機会ですので、皆さんぜひ傍聴にお越しください。

一般質問を行う各議員の通告書を、定例会議開会后、ホームページで公開しています。

○9月定例会議傍聴者
延べ 45人

今回の表紙

表紙の写真は、障がい者スポーツ選手たちが力強いプレイを実演し、子どもたちも一緒に楽しむ様子です。白熱するプレイに歓声をあげて喜ぶ子どもたちを見ていると、スポーツを楽しむのに障がいの有無は関係ないことを学ぶ機会になったと思います。